

本年度の教育活動方針

1. 本年度の学校経営

(1) 登戸小学校 学校教育目標

よく考える子

思いやりのある子

健康でたくましい子

最後までやりぬく子

(2) 学校運営の3つの重点と具体的な取組

1 <<自ら学ぶ力>>

自主

主体的に考える子ども

授業の充実

2 <<人間関係形成力>>

協働

共に支え合う子ども

心の教育の充実

3 <<自立的活動力>>

自立

自分から行動する子ども

実践的活動の充実

1 自主 主体的に考える子どもを育てます。

■そのために、基礎・基本を重視した授業を行い、基本的な学習態度の定着を図ります。また、子ども達どうしで対話する授業を大切にします。その中で教師は子どもの学びを支援、指導する役割に関わるようにしていきます。

①子ども達が気づいた事や考えた事を互いに「聴く」、「話す」活動を中心に自分から考えようとする協同的な授業を行います。

②子ども達が見通しをもって学習を始められるようにします。

③子ども達が注目できる資料等の焦点化と子ども達の気づきや意見を分かりやすく板書をしながら「わかる」授業を進めます。

④「学びの中心は登戸の子ども達」を基本にしながら全教職員で研究を進めていきます。

2 協働 共に支え合う子どもを育てます。

■そのために、学校の約束をしっかり守る指導を行い、基本的な生活習慣の定着を図ります。また、一人ひとりを大切にする取組を進めます。

①支援教育コーディネーターを中心にした全教職員によるネットワーク型の子どもの支援を行います。

②養護教諭との連携、学習支援、外部機関との連携など教職員が共通理解の上で共同歩調での支援を行います。

③子どもの人権を大切にした取り組みを行います。

・人権尊重月間

・いじめ防止の標語

・情報モラル教育の推進

・教員の人権意識の更なる醸成

④共生* 共育プログラムの活用などを通して、友達のよさと自分のよさに気づく支援を行います。

⑤子どもの日々の様子をよく見て、よい言動を価値づけほめることを行います。

3 創造 自分から気づいて考え行動する子どもを育てます。

■そのために、自分で気づいて行動できたことを褒める支援を行います。

①子ども達が自分から考え、行動できる場を学年に応じて意図的、計画的につくりだしていくようにします。

②代表委員会、各委員会、クラブ、学年行事（自然教室等）学校行事（運動会等）などの教育活動に、積極的に「子どもの主体的な活動」を取り入れていきます。

④学校教育推進議会や町会、地域住民、保護者と連携した教育活動、登下校の安全についての指導を推進します。

⑤地域学習を充実し、地域を大切に作る心を育みます。

⑥150周年行事を見据えた取り組みを進めていきます。

- あいさつが行き交う明るい学校づくりを目指します。
- 食育、給食指導、防災、防犯教育を充実させます。
- 学習道具の一つとしてGIGA 端末の活用を推進します。
- 子どもたちの言語力を育むために、図書室の環境整備や朝読書などを積極的に行います。
- 学習の成果が見られるように、計画的に作品掲示を行います。